

新たな挑戦！！

「ダンス発表会コンクール部門出場に向けた実践報告」

熊本県立ひのくに高等支援学校

1 はじめに

本校は、軽度の知的障がいのある生徒の社会自立・職業自立を目的とした教育を行っている創立15年目の高等特別支援学校です。一般就労を実現するために必要な、「アピール力」や「自己表現力」を身に付け、自己肯定感を高めることにも繋がった取組を紹介します。

2 各種大会へのお出場までのあゆみ

本校には、非常に好奇心が強く、何事にも関心をもって一生懸命に取り組む生徒が多く在籍しています。必死に頑張る姿に様々な可能性を感じ、「自分自身をさらけ出し、のびのびと輝く経験を」という願いから、高校総体、高校総文祭、高校駅伝大会、ダンス発表会等の大会に参加するようになりました。

3 ダンス発表会出場に向けた本校での取組

本校では、いくつかの講座の中から、自分の興味関心に合ったものを選択できる総合的な学習の時間「チャレンジ講座」を行っています。平成19年度、「スポーツ」にダンスを加えてから熊本県高等学校ダンス発表会の発表部門に参加してきましたが、今年度からは、ダンスの評価してもらいたいという生徒達の思いから、初めてコンクール部門に参加することとしました。

主に、曲のリズムや周囲の人にぴたりと動きを合わせる練習や、動と静の強弱をつけて表現力を高めるなどの質の向上を目指した練習に力を注ぎ、即興で動きを考えるなどその場の判断力や感性も求められるため、何度も試行錯誤を繰り返しながら、少しずつテーマに沿った表現力を身に付けていきました。

ダンス発表会に先駆け、校内のチャレンジ講座報告会でダンスを披露しました。生徒アンケートでは、「カッコいい」、「難しそうな動きがきちんと揃っていた」など多くのコメントが寄せられ、ダンス発表会に向けて、良いモチベーションとなりました。



4 熊本県高等学校ダンス発表会へのお出場

今年のテーマは「ワタリドリ～もっと高くもっと遠く」にし、生徒一人一人が巣から羽ばたこうとしている鳥になり、もがきながら巣立っていく様子を表現することを目標にしました。

リハーサルでは、緊張感が増したのか動きや表情に少し硬さが見られましたがリハーサルの課題を全員で共有し、みんなで話し合い、本番に備えました。

本番目前には一人の生徒が「間違ってもいいから笑顔で踊ろう」と投げかけたことで自然と緊張感がほぐれ、舞台での31人



の表情はとても穏やかで一瞬一瞬を心の底から楽しみ精一杯に踊る生徒達の姿がありました。



(リハーサルの様子)

発表後に観客席からの拍手に包まれて、達成感に満ち溢れた表情を浮かべていました。トップバッターというプレッシャーもあったと思いますが、本当によく頑張りました。惜しくも入賞は逃しましたが、他の高校生に負けず劣らず、堂々と発表することができました。

5 おわりに

今回は、初めてのコンクール部門での出場ということでとても緊張したと思いますが、ステージでは、身体を大きく使って楽しそうに踊っていました。

教えてもらった動きを一生懸命反復して覚え、できないことができるようになりとても嬉しそうな表情を浮かべる姿が、何よりも素晴らしいと感じました。

10人弱から始まった取組ですが、現在は約3分の1の生徒がスポーツ&ダンスを選択しています。今後は、職員もダンス講習会等に参加し更に理解を深めながら、生徒達と共に入賞という目標に向かって、取組を続けていきたいと思っています。



集合写真
(熊本県立劇場にて)